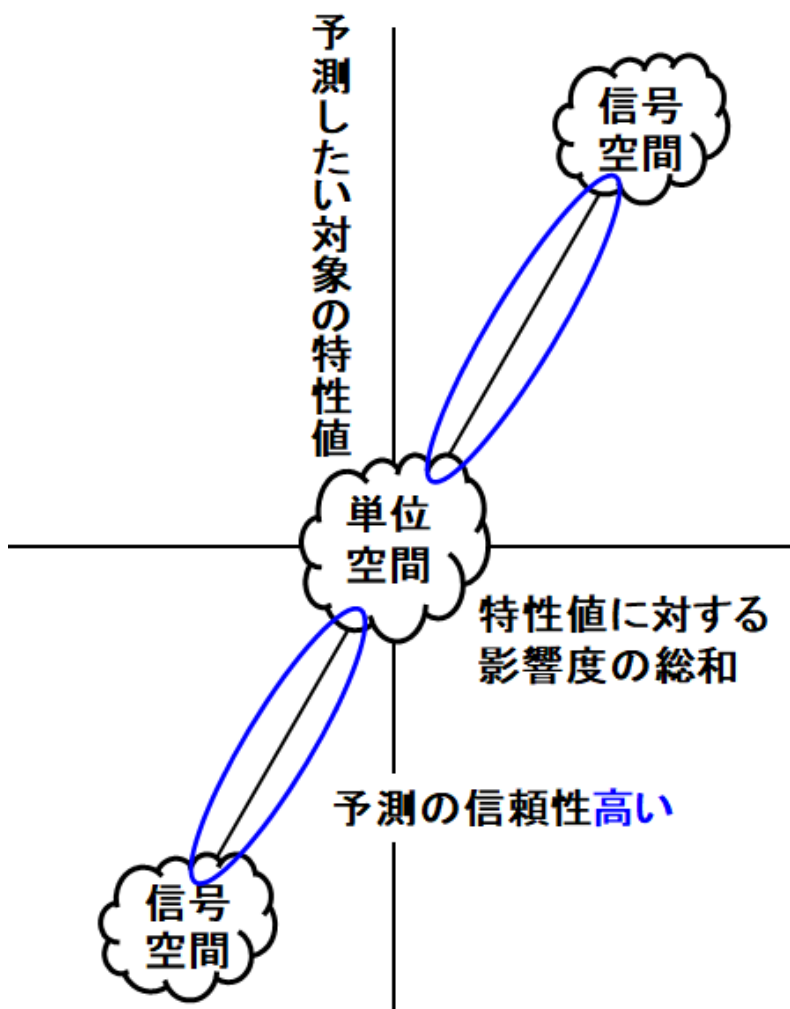


# T法



## T法の手順

- ①対象にする特性値の平均値辺りのデータを単位空間とする
- ②離れた特性値を信号空間に選ぶ
- ③単位空間と信号空間により、未知の対象物の特性値を予測する

- ・単位空間にも特性値必要
- ・正負の特性値でも使用可